

2020 年 12 月 24 日
学校長 佐々井宏平

年末の全校朝礼でのご挨拶

みなさん、おはようございます。

年の瀬を迎え今年を締めくくる朝礼を迎えました。

先ずは、生徒の皆さん、そして教職員のみなさん。

本当に一年間、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

振り返りますと、一月下旬より新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地、そして日本にも及びました。新学期を迎え入学式そして始業式後、4 月 5 月は緊急事態宣言が発令され、本当に私たちはこれまで経験したことのない二か月に及ぶ休校期間を過ごしました。6 月から学校が再開され、『正しく恐れること』を心し、日々その感染拡大防止に努めることと、ともに自らの命を守ることが、ご家族、そして周りの仲間やお世話になっているあらゆる人々の命を守ることにつながることを実感する毎日でした。

様々な制限がある中、文化祭、高校では各種競技大会、中学校の体育祭が皆さんの心ある行動をもって開催できましたことは、何よりでした。先程、冒頭で山田千歳教頭先生より皆さんの努力の成果が発表されました。おめでとうございます。皆さんの才能や可能性は無限大にあることの証です。

先日、高校一年生の探究学習発表会を拝見しました。今、世の中で何が問題となっているのか。その問題をどのように解決するのか。社会問題の現状をデータで示し、グループの仲間と問題を解決するために知恵・アイデアを出し合い一枚の模造紙にまとめ、ひとり一人が人の前で発表する様子を拝見しました。また、今日は高校三年生が三年間の探究学習の締めくくりとして、翠嵐館ホールにて発表会が開催されます。中学校では地球学、高等学校ではそれぞれのコースで皆さんは、探究学習に取り組んでいます。皆さんの取り組みを拝見しながら、探究学習を通して社会とのつながりを持ち、真面目によりよい社会を創り上げる一人として、また互いにチームとなって真剣に考え、人に伝える。まさしく、いつか社会で人にやさしい手を差し伸べるプロとなって、将来多くの方々に喜びを与える人として活躍する礎がここにあると思いました。

学校は授業、部活動、行事を通して、知識・教養を培い、個性を互いに認め伸ばす環境、そしてチームの一員として今、何をしなければならないのか、について考え仲間、先生方とともに生活しています。そして、自分は将来どのようなプロとしてどのような生き方をするのか。中高時代に将来を思い、考える日々を送っていただきたいと思います。

「予想しえない状況が起こった時に、その人の日々の行動の真価が発揮される」。この一年間を通して、本校生徒の善行に心を打たれました。手作りのマスクを医療従事者の皆様に寄贈したこと、ご老人が倒れられたときとっさに救急車を呼び、ご家族を冷静に誘導、そして人命救助に努めたこと、感染拡大で品薄になっていた医療用品の寄付を募り、医療機関へおくれたこと。他者を思う気持ちにあふれた本校生徒の皆さんの心温まる行動でした。

世界のどの舞台にも堂々と行動する人になってもらいたい。他者への優しさがどれほどの人々の心に明かりをともしることになるのか。人としての生き方を改めて考える日々を送っていただきたいと思います。

生徒の皆さん、今一度、2020 年を振り返り、さらなるご自身の成長を信じ、人を感じる温かさを持ち、自分の無限大の可能性に向かって歩んで行っていただきたく思います。

ご家族の皆様には本校の教育方針に対しましてご理解とご協力をいただき、今日 2020 年の終業を迎えました。高校三年生、もうひと踏ん張りです。中学校 1 年生から高校 2 年生、年が明けましたら上級生となります。皆さんの更なるご活躍に期待するばかりです。

一年の計は元旦にあり。来る 2021 年 1 月 1 日、皆さんは高い志をもち、高い目標を掲げてください。そして、8 日の始業で皆さんと元気に新年のご挨拶ができますことを心より祈念し、挨拶とします。今年一年、ありがとうございました。

結びにあたりまして、ご近隣の皆様には御礼を申し上げます。厳しい状況が続く中、今年も本校教育に格別のご理解とご支援を賜り心より感謝いたします。お体ご自愛くださいまして、益々のご清栄を祈念いたします。来年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様にとりまして素晴らしい新年をお迎えください。ありがとうございました。